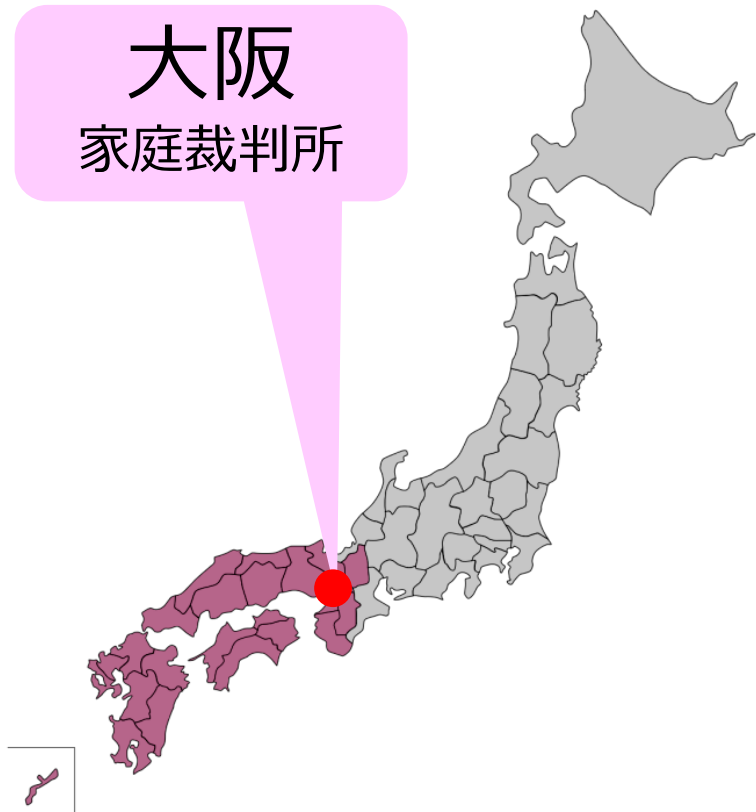


ハーグ条約に関する 日本の裁判実務

2019年6月10日
最高裁判所事務総局家庭局第一課長 澤村智子

管轄の集中

大阪
家庭裁判所



東京
家庭裁判所



審理モデルの概要

申立書の受理



第1回期日及び第2回期日の指定



2週間後

第1回期日



5週間後

第2回期日

第1回期日

- ✓ 争点及び提出すべき資料の明確化
- ✓ 必要な資料の提出指示
- ✓ 審理計画の策定
- ✓ 調停の可能性の模索

第1回期日と第2回期日の間

✓ 家庭裁判所調査官による事実の調査

- ・ 常居所地国に返還されることについての子の意向
- ・ 子が新たな環境に適応しているか否か

✓ 家事調停

家庭裁判所調査官とは…

行動科学の専門家

(心理学・社会学・教育学・ソーシャルワークなど)

第2回期日

✓ 裁判官による事実の調査

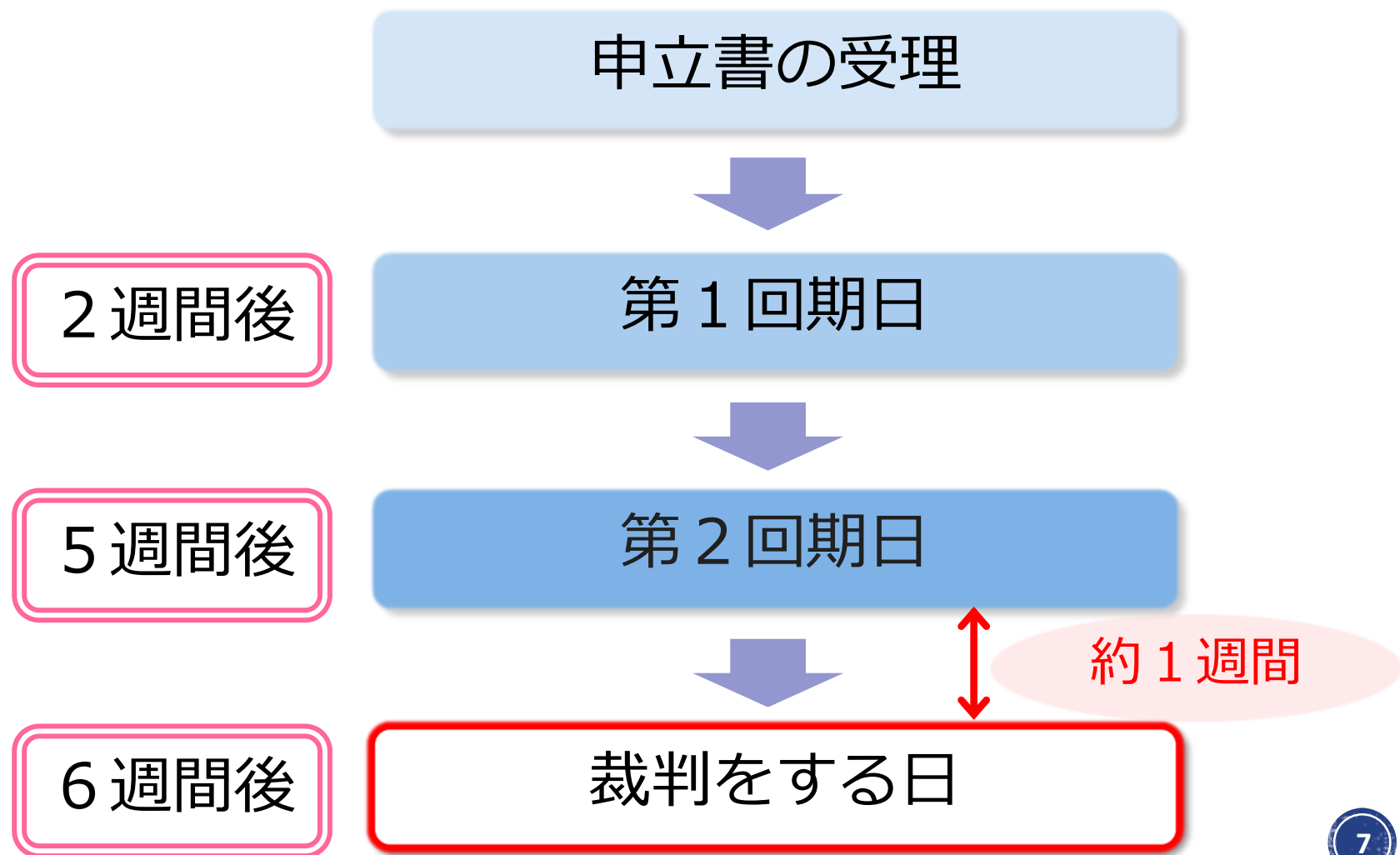
- ・ 双方当事人から提出された主張書面・資料
- ・ 家庭裁判所調査官による事実の調査の結果
- ・ 当事者からの陳述の聴取



✓ 審理の終結

✓ 裁判をする日の指定

審理モデルの概要



第一審に関する統計

2014年4月1日～2019年3月31日までの間

申立て件数

94 件

終局した事件数

92 件

平均審理期間

60.4 日

➤ 事件数は、子の数を基準に数えたもの

終局した事件の結果

裁判により終局したもの 46 件

そのうち 子の返還を命じたもの 33 件

却下されたもの 13 件

調停により終局したもの 39 件

そのうち 子の返還を合意したもの 19 件

子の不返還を合意したもの 20 件

面会交流申立事件

申立て件数

26 件

終局した事件数

24 件

そのうち

調停成立 6 件

取下げ 7 件

調停に代わる審判 1 件

調停をしない措置 2 件

認容 6 件

却下 2 件